

新学校給食共同調理場の整備等について

管理部 学校給食課

1. 趣旨

(仮称) 新第1学校給食共同調理場及び中学校給食の配膳室(受入施設)について、平成26年度～27年度の2ヵ年で以下のとおり整備を進めるものです。

2. (仮称) 新第1学校給食共同調理場整備について

(1) 整備の概要

- | | |
|---------|--|
| ①位 置 | 枚方市出屋敷西町2丁目877番9 |
| ②敷地面積 | 約7,500 m ² (進入路(約250 m ²)を除く) |
| ③構 造 | 鉄骨造一部2階建 |
| ④延床面積 | 約4,000 m ² |
| ⑤調理可能食数 | 小学校給食 4,000食/日 (食缶方式) 中学校給食 6,000食/日 (ランチボックス方式) |

(2) 配置図・平面図(案)

別添資料のとおり

(3) 施設の特徴

①ドライシステムの導入

調理場内の湿度を低く抑え細菌の繁殖を抑制するとともに、床面の跳ね水などによる二次汚染を防止するため、調理スペースの床を乾燥した状態で使用する「ドライシステム」を導入します。

②HACCPの概念に基づくゾーニング

作業動線の交差等による二次汚染を防止するため、調理工程や取り扱う食材ごとのエリアを明確に区分するなど、衛生管理の徹底と高い作業効率を両立させます。

③災害時等に備えた、多様なエネルギーの組み合わせ

ガス発電設備(ガスコージェネレーション)を導入し、平時には電力と排熱の利用を、停電時には電源確保とガス調理設備の運転を可能とします。また、IH調理設備を一部導入するなど、多様なエネルギーを組み合わせることで、炊き出し等の災害時機能を高めます。

④環境への配慮

地球温暖化対策の取り組みとして、屋上に太陽光発電設備の設置スペースを確保し、民間発電事業者への有償貸与を想定します。

なお、施設内の照明にはLED器具を採用します。

また、生物分解による厨芥処理システムを導入し、廃棄物の減量化を図ります。

⑤その他

小学校給食と中学校給食それぞれに、アレルギー対応食（除去食）の専用調理室を確保します。

また、社会見学や視察等の受け入れを行う見学室を設置します。

中学校給食の炊飯については、小学校給食と同様に外部委託方式を採用するものとします。

(4) 整備時期

平成 26 年 7 月末までに実施設計を完了した後、平成 26 年中に着工し、平成 27 年中の竣工をめざします。

3. 中学校給食の配膳室（受入施設）整備について

(1) 整備の概要

配膳室は、既存校舎 1 階において教室等を改修し整備します。

牛乳保冷庫用や保温カート用の電源を確保します。

給食配送車の搬入経路を確保するため、荷降ろし用のプラットホームの整備や車路の舗装等を実施します。

(2) 整備時期

整備時期は、「枚方市市有建築物保全計画」に基づく改修等との調整を行い、平成 26 年度に 10 校、平成 27 年度に 9 校の整備をそれぞれ行います。

| 整備年度 | 整備校数 | 対象校 |
|----------|------|---|
| 平成 26 年度 | 10 校 | 第四中学校、枚方中学校、楠葉西中学校、東香里中学校、長尾中学校、山田中学校、渚西中学校、桜丘中学校、招提北中学校、長尾西中学校 |
| 平成 27 年度 | 9 校 | 第一中学校、第二中学校、第三中学校、津田中学校、中宮中学校、招提中学校、楠葉中学校、杉中学校、蹉跎中学校 |

4. 施設整備費

| 項 目 | 概算費用 | 試算額 | 比 較 |
|---|---------|--------|-------|
| ・(仮称)新第1学校給食共同調理場整備 ・中学校給食配膳室(受入施設)整備 ・公共下水道接続工事 ・設計委託料 ・備品購入費等 | ※33.3億円 | 28.6億円 | 4.7億円 |

※概算費用には、消費税率の改定、基礎杭打ちの追加、資材価格や人件費の高騰、ガス発電設備の導入、照明のLED化等に伴う追加事業費を含みます。